



医療法人春陽会 兵庫の郷



医療法人春陽会 兵庫の郷

医療を中核として 介護・福祉事業を展開

1764年に初代上村春庵が長崎で蘭学修行を行ってから258年。1871年に六代春甫が上村病院を創立してから151年。病める人たちに春の陽ざしのようなやさしさと温かさで接し、心のふれあいを大切にしながら人々の健康のお役に立ちたいとの想いで、同法人は医療を中心に介護・福祉事業を展開してきた。

2021年10月には、地域の人々からのニーズに応えるべく、病院5階に設置していた介護療養型医療施設38床を介護医療院に転換し、また、新規に介護付き有料老人ホーム30床の複合施設「兵庫の郷」を病院隣接地に開設した。

最新の医療機器の整備と 医療環境の充実を目指す

既存病院では厨房の熱源に都市ガスを使用しており、夏場はエアコンが効かず仕事にならないとの声が上がっていたことから、労働環境改善のために輻射熱が抑えられる電化厨房を採

用した。また、空調設備は省エネルギー性能に優れた電気式ヒートポンプを採用。給湯設備も経済性と環境への配慮から業務用エコキュートを採用した。

業務用エコキュートは、低炭素社会の実現に寄与し、省エネルギーにつながることで、他の熱源と比較してメンテナンスが容易なこと、割安な夜間電力の有効利用で日中の最大電力を抑制し、電力負荷を平準化できるなどのメリットがある。オール電化施設にしたことで経済的な効果は著しく、給湯設備だけで約39%もの削減が可能となり、運転管理やメンテナンスも必要最低限でよいことから職員からも好評を得ている。

同法人はこれからも「之を養うや春



業務用ヒートポンプ給湯機

陽の如し」をモットーに、最新の医療機器の整備や医療環境の充実とともに、利用する方々に安心して利用いただくための施設整備を行いながら、職員が働きやすい職場を確立し、同法人の本来の目的である保健・医療・福祉のお役に立てるよう尽力していきたいと考えている。

一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	ガス給湯器 一次エネルギー消費量:686,770.4GJ
採用システム	ヒートポンプ給湯器 一次エネルギー消費量:420,456.1GJ



(諸元) 同一給湯負荷条件による年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値
※電気(全日) 9.97 MJ/kWh ※電気(夜間) 9.28 MJ/Nm³
※都市ガス45 MJ/ℓ
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」

医療法人春陽会 兵庫の郷

所在地: 佐賀県佐賀市兵庫町4604-1
建築設計: 設計工房JIN
建築施工: 松尾建設㈱
設備設計: 株式会社設備設計
設備施工: ㈱九電工佐賀支店
延床面積: 3,727.61㎡
竣工: 2021年新設
URL: <http://shunyoukai.jp/>

■ 設備概要

業務用ヒートポンプ給湯機
7.2kW×18台[三菱電機]
貯湯槽6.6㎡

